



平成 22 年 1 月 12 日

各 位

会 社 名 株式会社 ブロッコリー
代表者名 代表取締役社長 上田 陽史
(JASDAQ コード 2 7 0 6)
問合せ先 取締役管理本部長 渡邊 朋浩
(TEL 03 - 5946 - 2824)

平成 22 年 2 月期通期（連結・個別）業績予想の修正に関するお知らせ

平成22年2月期（平成21年3月1日～平成22年2月28日）の業績について、平成21年10月9日付当社「平成22年2月期第2四半期累計期間（連結・個別）業績予想との差異及び通期（連結・個別）業績予想の修正に関するお知らせ」にて発表いたしました業績予想を修正いたしますので、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 平成 22 年 2 月期連結業績予想の修正

(1) 通期（平成 21 年 3 月 1 日～平成 22 年 2 月 28 日）

(金額の単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回予想 (A)	9,985	△191	△186	△205	△6 円 27 銭
今回修正 (B)	9,499	△314	△324	△265	△8 円 12 銭
増減額 (B - A)	△485	△123	△137	△59	—
増減率 (%)	△4.9	—	—	—	—
(ご参考) 前期実績 (平成 21 年 2 月期)	9,713	△448	△493	△838	△25 円 62 銭

(2) 修正理由

売上高につきましては、第3四半期累計期間のリテール部門におきまして、想定した売上高を確保できなかったこと、エンターテインメント部門におきましてはカードゲーム商品の落ち込みとTVゲーム商品の販売数減少・発売延期が重なったことなどにより、通期の売上高は9,499百万円(前回予想比：△485百万円)となる見込みとなりました。

営業利益につきましては、売上高低下に伴い売上総利益が減少したことが主な要因となります。販売費及び一般管理費の削減(前回予想比：△63百万円)は順調に進んでおりましたが、売上高減少の影響により、遺憾ながら営業利益は△314百万円(前回予想比：△123百万円)となりました。

経常利益につきましては、上記要因により、△324百万円(前回予想比：△137百万円)となる見込みとなりました。

この結果、当期純利益につきましては、当第3四半期連結累計期間において特別利益81百万円を計上したものの、△265百万円（前回予想比：△59百万円）となる見込みとなりました。

2. 平成22年2月期個別業績予想との差異

(1) 通期（平成21年3月1日～平成22年2月28日）

（金額の単位：百万円）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回予想（A）	9,979	△193	△199	△210	△6円27銭
今回修正（B）	9,494	△316	△322	△254	△7円79銭
増減額（B－A）	△485	△123	△123	△44	－
増減率（%）	△4.9	－	－	－	－
（ご参考）前期実績 （平成21年2月期）	9,616	△400	△391	△743	△22円73銭

(2) 修正理由

連結の業績予想差異と同様の理由から、売上高につきましては9,494百万円（前年予想比：△485百万円）、営業利益は△316百万円（前回予想比：△123百万円）、経常利益は△322百万円（前回予想比：△123百万円）、当期純利益は△254百万円（前回予想比：△44百万円）となる見込みとなりました。

以 上